

リモート・コントローラー

アシュリーの **Protea™** ソフトウェアを使用する機器を離れた場所からリモート・コントロールするための機器が多数そろっています。アシュリーのリモート・コントローラーで制御可能な機器については最終ページを参照ください。

タッチパネルを使用するよりもはるかに廉価で、目で見てもはっきりと設定状態が確認できますので、誰でも簡単に操作をすることが可能です。

アシュリーのリモート・コントローラーには以下の 3 種類の制御方法があります。

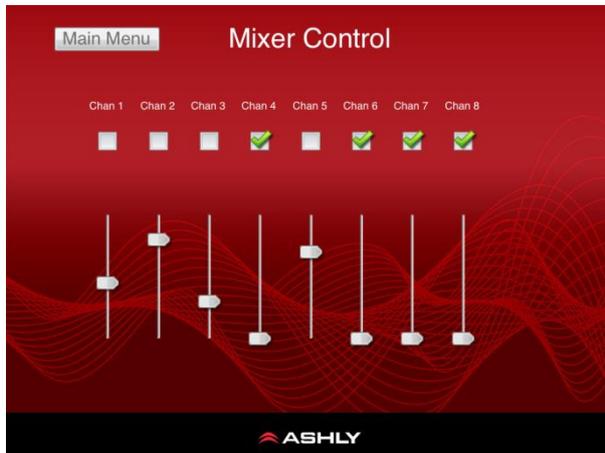
- IPad を使用して Wi-Fi 環境でリモート・コントロール
- Ethernet base でリモート・コントロール(1,000 ㎡離れた場所から制御可能)

FR-8、FR-16、neWR-5

- Microsoft base でリモート・コントロール
(300 ㎡離れた場所から制御可能)

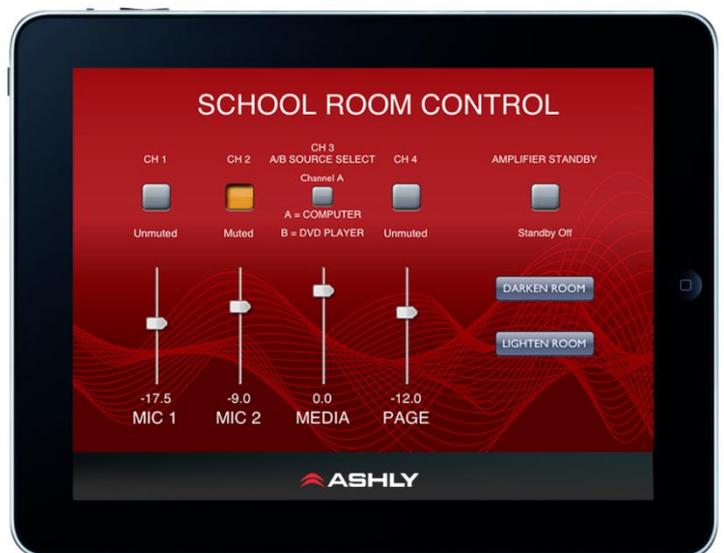
RD-8C、RW-8C、WR-1、WR1.5、WR-2、WR-5

● IPad を使用して Wi-Fi 環境でリモート・コントロール



- 独自にデザインしたリモート機能を作り上げ、保管し、呼出し、そして共有可能
- 独自の絵柄を背景としてインポート
- セキュリティを編集またはアクセス設定してリモート機能を確立する
- ネットワークでつながれたアシュリー製品にあるパラメーターを制御

1. プリセット呼び出し
2. ゲインの増減制御(ミキサー、ゲインブロック、WR5ブロック、DVCA)
3. ミュート制御(ミキサー、入/出力、DVCA)
4. A/B 音源切り替え
5. ロジック出力
6. メーター
7. PEQ(15,10,6,4,2)のフィルターレベル調整
8. アンプのスタンバイ



- コミュニケーションの実効性を見る診断機能を使用
- アイパッド画面製作用ソフトは WEB から無料でダウンロード可能

● Ethernet base のリモート・コントロール

➤ FR-8、FR-16



FR-16



FR-8

◇ 特長

- ✓ 誰でも、見た目でも操作可能
- ✓ **FR-16** は、マスター制御が付いた 16 チャンネルの入/出力設定、**FR-8** は、マスター制御が付いた 8 チャンネルの入/出力設定
 - フェーダーの一目盛あたりの数値を設定可能
- ✓ LED が付いたプッシュボタン・スイッチ
 - フェーダーごとの Mute/Unmute スイッチ
 - フェーダーごとに A と B の音源選択 (オプション)
 - LED のスレッショルド・レベルを使用者が定義可能
- ✓ 機器の前面パネルのロックアウト
- ✓ 通信エラー表示
- ✓ IP アドレス自動設定
- ✓ 差し込み式ラベル
- ✓ 壁面取り付け、ラック実装、パネル切込み取り付けが可能
- ✓ 本体との距離は 1,000 ㎝ 離すことが可能

◇ 必要事項

- ✓ Ethernet Network
- ✓ Ethernet (class 2) 全体に IEEE802.3af 電源
- ✓ アシュリーの NE DSP 機器
- ✓ マイクロソフトの Windows 8、Windows 7、Vista または XP を搭載
- ✓ 32ビット 64ビット環境
- ✓ Protea™ ソフトウェア v5.11 以上

➤ neWR-5

- ✓ Ethernet base で **Protea™** ソフトウェアを使っている機器の制御をおこないます。
- ✓ 6 個のプログラム可能なボタンが付いていて、**Protea™** ソフトウェアを使用して各ボタンの機能をアサインすることができます。
- ✓ 音量調整をおこなう 2 個の昇降ボタンが付いています。プリセットの呼び出し、プリセットのスクロールもこのボタンを使用します。英文字と数字の組み合わせで構成される表示は、使用者にとって分かりやすい変更をすることが可能です。
- ✓ PoE ハブを使うことができない場合には、15-48VDC の電源を供給すれば動作可能です。
- ✓ 無限大の neWR-5 を接続可能です。
- ✓ 本体との距離は 1,000 離することができます。



◇ 操作機能

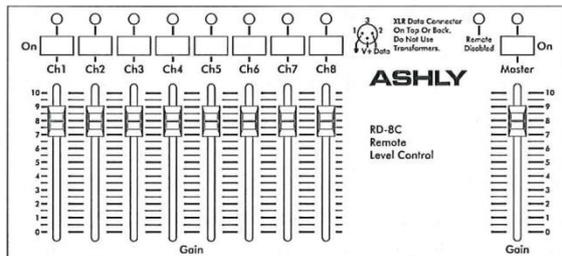
- ✓ 31 のプリセット呼び出し:アサインしたプリセットをすぐに呼び出しできます
- ✓ 31 のプリセット・スクロール:プリセットをスクロールして希望するプリセットデータを呼び出します。
- ✓ 入/出力ゲイン調整:使用者がアサインしたチャンネルのゲインを調整できます。
- ✓ 音源選択:出力ゾーンに対応する音源変更ができます。
- ✓ マトリックス・ミキサーのゲイン調整:音源選択をおこなうために出力ゾーンに対応するマトリックス・ミキサーのゲインを調整できます。
- ✓ チャンネル・ミュート
- ✓ ゾーンごとの音源選択:分割された各部屋に neWR-5 を設置すれば、各部屋で独自のリモート操作をすることが可能です。
- ✓ ロジック出力 High/Low 切り替え可能(ne24.24m):ロジックスイッチ・コネクタを使ってロジック出力を切り替えます。出力が High になるとスイッチが緑色になります。



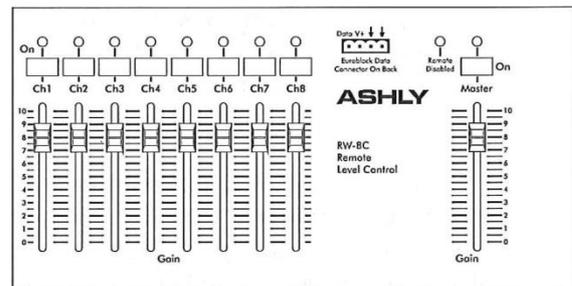
● Microsoft base のリモート・コントローラー

➤ RD-8C、RW-8C

RD-8Cはラックマウント対応(RD-8RMを使用:別売、2U)、RW-8Cは壁面に埋め込んで使用するよう設計されています。



RD-8C



RW-8C



RD-8RM に 2 台の RD-8C を実装

◇ 制御機能

- ✓ Protea™ソフトウェアによる制御
- ✓ 入/出力レベルのリモート制御
- ✓ マスターレベルのリモート調整が可能
- ✓ 24GA(直径 0.51 mm)のツイステッドケーブルを使用して 300 m離れた距離で制御できます。
- ✓ WR-5 との併用はできません

◇ 特長

- ✓ 誰でも、見ただけで操作可能
- ✓ LED が付いたプッシュボタン・スイッチ
フェーダーごとの Mute/Unmute 機能
- ✓ 機器の前面パネルのロックアウト
- ✓ 通信エラー表示: 結線が外れると赤色点灯
- ✓ 差し込み式ラベル

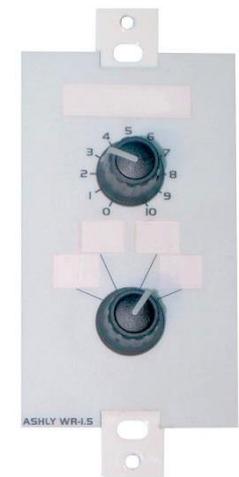
➤ **WR-1:リモート音量制御**

- ✓ 10k Ω のポテンシャル・ボリュームを使用してアシュリーのパワーアンプの出力レベルをリモート制御します。
- ✓ Protea™ ソフトウェアを使用していない nX シリーズ、neXXXX シリーズ・パワーアンプの出力レベルの制御もできます。
- ✓ 一つの WR-1 で 2 チャンネルの出力リモート制御ができます。
- ✓ 24GA(直径 0.51 ミリ)のツイストケーブルを使用して 300 離れた距離で制御できます。



➤ **WR-1.5:リモート音量制御とプリセット呼び出し**

- ✓ WR-1 と WR-2 の機能を一体化した製品です。
- ✓ Protea™ ソフトウェアを使用しているパワーアンプの 1 チャンネルの出力レベルを制御し、プリセット・パターンのうち 1-4 を呼び出すことができます。
- ✓ 24GA(直径 0.51 ミリ)のツイストケーブルを使用して 300 離れた距離で制御できます。



➤ **WR-2:リモート・プリセット呼び出し**

- ✓ Protea™ ソフトウェアを使用している製品のプリセット・パターンのうちアサインされた 4 種類を呼び出すことができます。
- ✓ 24GA(直径 0.51 ミリ)のツイストケーブルを使用して 300 離れた距離で制御できます。



➤ WR-5

- ✓ Microsoft base で **Protea™** ソフトウェアを使っている機器の制御をおこないません。
- ✓ 6 個のプログラム可能なボタンが付いていて、**Protea™** ソフトウェアを使用して各ボタンの機能をアサインすることができます。
- ✓ 音量調整をおこなう 2 個の昇降ボタンが付いています。プリセットの呼び出し、プリセットのスクロールもこのボタンを使用します。英文字と数字の組み合わせで構成される表示は、使用者にとって分かりやすい変更をすることが可能です。
- ✓ 本体機器から供給される電源で **WR-5** を 4 台までデージー・チェーン接続ができます。
- ✓ **WR-5** を 5 台以上使う場合には、**RPS-18**(別売)を使用してください。
- ✓ 24GA(直径 0.51 ㍉)のツイストケーブルを使用して 300 ㍎離れた距離で制御できます。
- ✓ **RD-8C** 並びに **WR-8C** との併用はできません。

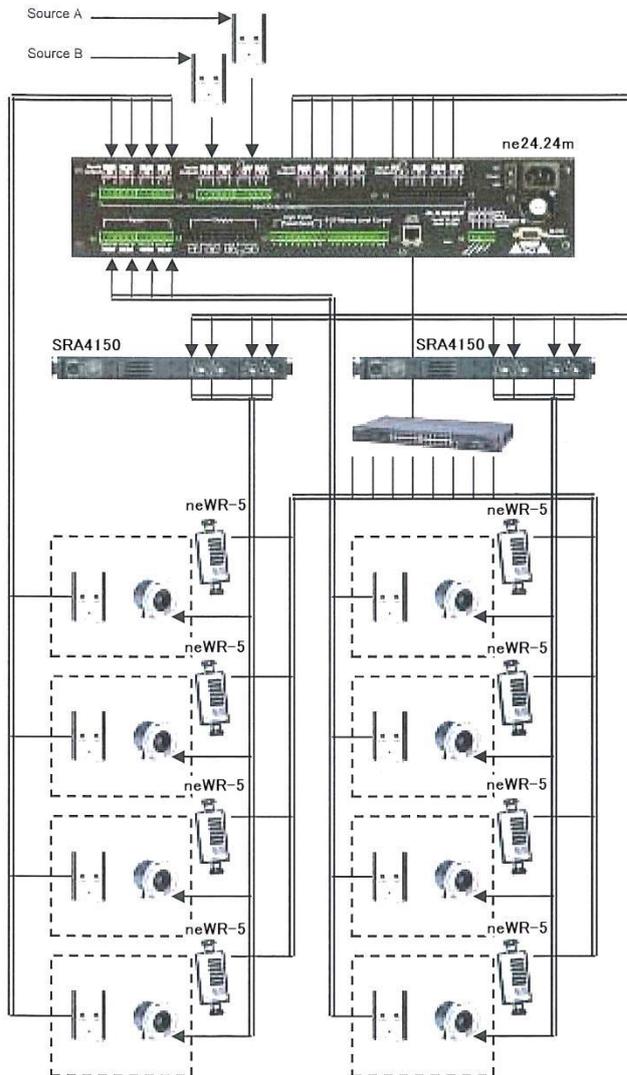


◇ 操作機能

- ✓ 31 のプリセット呼び出し:アサインしたプリセットをすぐに呼び出しできます
- ✓ 31 のプリセット・スクロール:プリセットをスクロールして希望するプリセットデータを呼び出します。
- ✓ 入/出力ゲイン調整:使用者がアサインしたチャンネルのゲインを調整できます。
- ✓ 音源選択:出力ゾーンに対応する音源変更ができます。
- ✓ マトリックス・ミキサーのゲイン調整:音源選択をおこなうために出力ゾーンに対応するマトリックス・ミキサーのゲインを調整できます。
- ✓ チャンネル・ミュート
- ✓ ゾーンごとの音源選択:分割された各部屋に **WR-5** を設置すれば、各部屋で独自のリモート操作をすることが可能です。
- ✓ ロジック出力 High/Low 切り替え可能(**ne24.24m**):ロジックスイッチ・コネクタを使ってロジック出力を切り替えます。出力が **High** になるとスイッチが緑色になります。



● リモート・コントローラーの使用例



音源 A と B を 8 室の部屋に配信し、8 室の部屋には独自の音源を個別に流すことができます。

各部屋に設置された **neWR-5** を使って、音源の選択と音量の調整を個別におこなうことができます。

ne24.24m には 10 系統の音源が入力、8 部屋のスピーカーシステムを駆動するために 8 系統の出力が出て **SRA4150** パワーアンプに接続されています。

neWR-5 は PoE ハブを経由して **ne24.24m** の Ethernet 端子に接続されています。

部屋数を 4 室にすれば、各部屋でマイクを使うことができます。**ne24.24m** にはマイクロホン・プリアンプが内蔵されています。

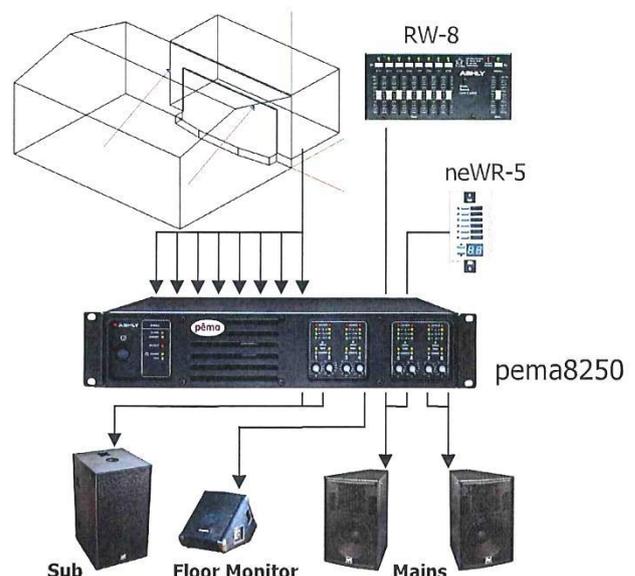
部屋を結合して使うパターンをプリセットとして組んでおけば、**neWR-5** を使用して部屋の分割併合ができます。

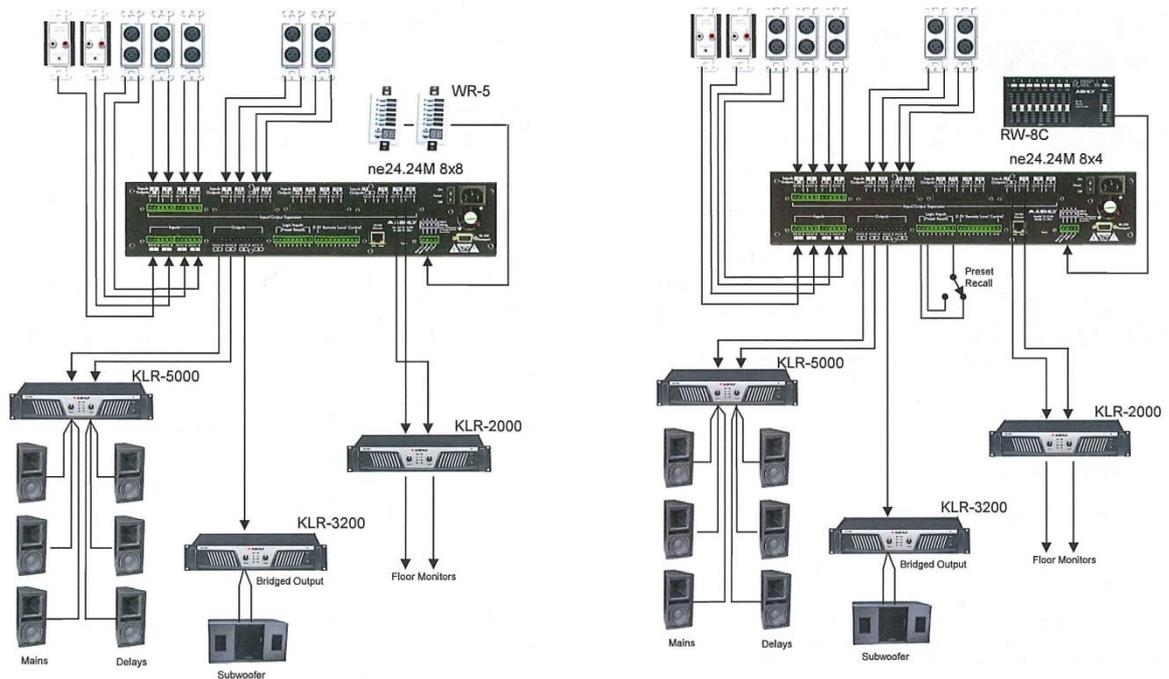
他の部屋でイベントが入っていても、パターン切り替えのノイズが入ることはありません。

制御数が少ない場合には、Ethernet base の **neWR-5** と Microsoft base の **RW-8C** を併用することができます。

pema8250 は、マイクロホン・プリアンプと DSP を内蔵した、各チャンネルの出力が 250 W の 8 チャンネル・パワーアンプです。

neWR-5 は出力レベル調整に使用し、**RW-8C** は入力レベル調整に使用しています。





- ✓ 1か所には4系統のマイクロホン入力、1か所には6系統のマイクロホンとステレオ入力をモノラルに変換した2系統のラインが混在した合計12系統の入力を使用しています。
- ✓ 8系統の出力のうち5系統をパワーアンプに接続しています。
- ✓ 左右の設備ともDSP内蔵のマトリクス・ミキサーであるne24.24mを使用した同じ音響設備です。
- ✓ リモート・コントローラーが2台のWR-5を使っているか、1台のRW-8Cを使っているかの違いです。
- ✓ 出力系統には、必要に応じてクロスオーバー、イコライザー、スピーカ保護のためのリミッター、ディレイが設定されています。

1. 左側のWR-5を2台使用している設備

WR-5のうち1台は、6系統の入力のレベル調整をおこなっています。ステージ入力に対応しています。

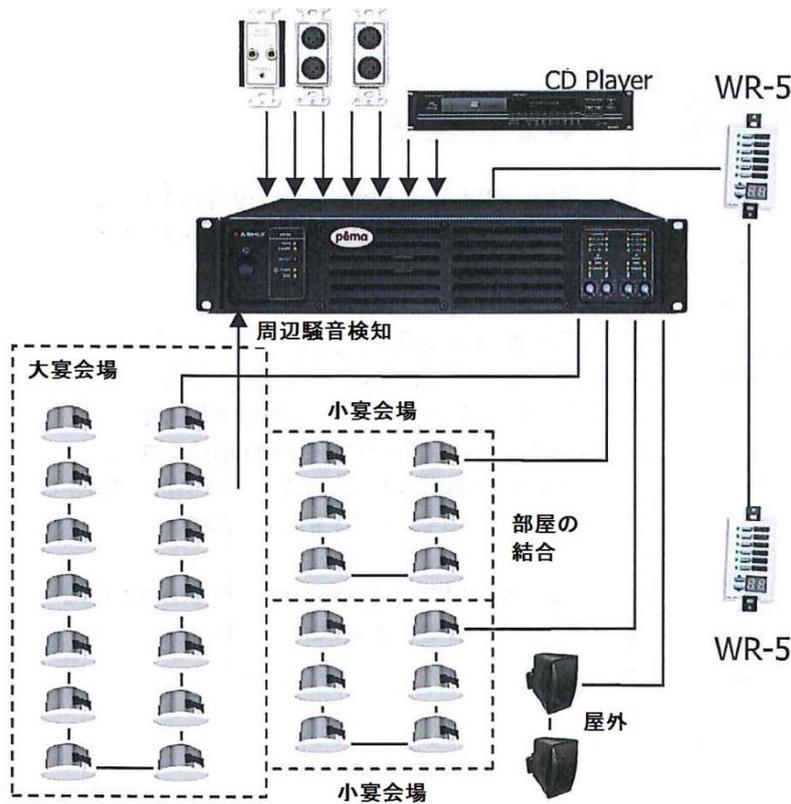
もう1台のWR-5は8系統の入力のレベル調整とプリセットの呼び出しをおこなっています。移動ラック入力に対応しています。

2. 右側のRW-8Cを1台使用している設備

この音響設備によるリモート機能は極めてシンプルにできており、プリセット1とプリセット2をスイッチで切り変えます。

プリセットを1にすると、RW-8Cによってステージの入力をOn/Offに切り替え音量を調節します。これらの同じ入力をもっと低いレベルのモニター送りにアサインすることができます。

プリセットを2にすると、RW-8Cの機能を無効にし、ステレオ入力と2系統のモニター入力をより大きな再生ができるようにします。

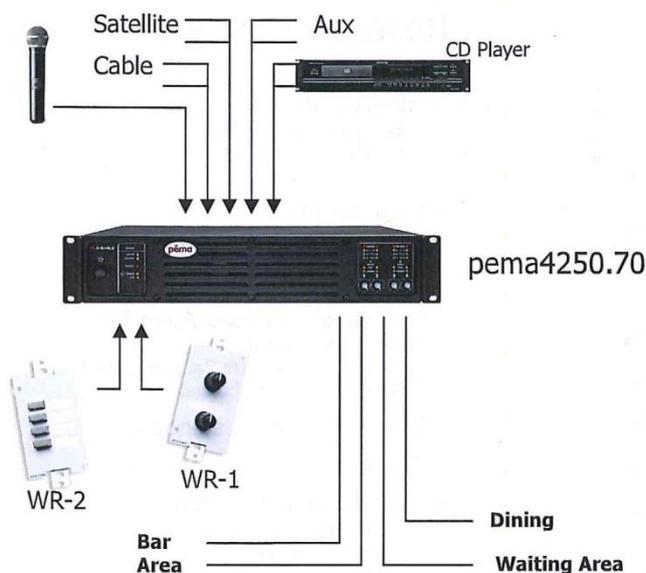


4 系統のマイクロホン、ステレオCD信号そしてステレオ信号をモノラル信号にした 1 系統の AUX 信号という 7 系統の入力が、8 入力/4 パワーアンプ出力を持った **pema** パワード・プロセッサに接続されています。

1 台の **WR-5** は、6 個のボタン全てが 4 系統のマイクロホン、CD、AUX の入力信号レベルを調整するために使われています。

もう 1 台の **WR-5** は、1 番目のボタンを音響担当者が全てのスピーカーシステムの出カレベルを一斉に調整するために使われています。2 番目のボタンは、上の小宴会場のスピーカーシ

ステムから出る音をミュートするために使われています。3 番目のボタンは、下の小宴会場のスピーカーシステムをミュートするために使われています。4 番目のボタンは、屋外で使われているスピーカーシステムをミュートするために使われています。5 番目と 6 番目のボタンは、小宴会場 2 室を結合したり、大宴会場と 2 室の小宴会場を連結/分割するために使われています。



WR-1 リモート音量制御パネルと **WR-2** リモート・プリセット呼び出しパネルは、他のリモート・コントローラーが使われていても個別に使うことが可能です。

WR-1 は 2 系統の出カレベルの調整ができ **Protea™** ソフトウェアを使用しない **nX** や多チャンネルと 2 チャンネルの **ne** シリーズ・パワーアンプにも使用することができます。

WR-2 はアサインされたプリセットから 4 種類のプリセットを呼び出すことができます。

講堂、ホテルの宴会場、会議室、議場、店舗等の音響設備で設定変更や離れた場所での音量調整が必要な場合に便利な組み

合わせとなります。

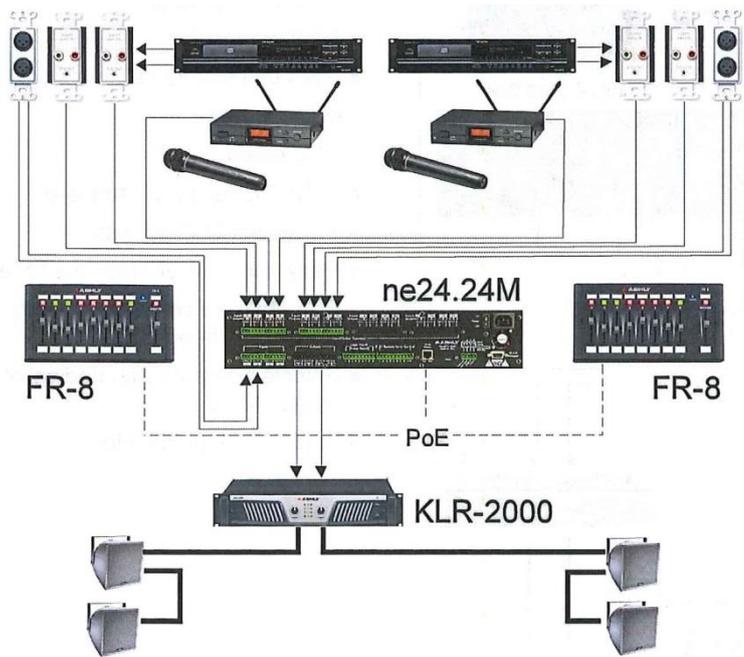
観客席がある比較的小規模な競技場が2面あり、それぞれ個別にリモート・コントロールをしたい音響設備です。

音響設備はアナウンス室に固定されています。

競技面と観客席に向けたスピーカーシステムがそれぞれ1本ずつパワーアンプに接続されています。

各競技場用に2系統のマイクロホン信号、1系統のワイアレスマイクロホン信号そして2系統のモノラルAUX信号がマイクロホン・プリアンプとDSPが搭載された **ne24.24m** マトリックス・ミキサーに接続されています。

FR-8 は各競技場のダグアウトに取り付けられており、PoE ハブを経由して **ne24.24m** に接続されており、それぞれの競技場の入力信号と出力信号のレベル調整をおこなっています。



● リモート機器に対応するアシュリー製品

	iPad Controller	Ethernet base Controller	
		FR-8/16	neWR-5
Pema	◎	◎	◎
nX	-	-	-
nXe	◎	◎	◎
nXp	◎	◎	◎
neXXXXpe	◎	◎	◎
neXXXX	-	-	-
KLR	-	-	-
ne24.24m	◎	◎	◎
ne4400	-	-	◎
ne4800	◎	◎	◎
ne8800	◎	◎	◎
X.Ysp	-	-	-

	Microsoft base Controller				
	RD/RW-8C	WR-1	WR-1.5	WR-2	WR-5
Pema	◎	◎	◎	◎	◎
nX	-	◎	-	-	-
nXe	-	◎	◎	◎	◎
nXp	◎	◎	◎	◎	◎
neXXXXpe	◎	◎	◎	◎	◎
neXXXX	-	◎	-	-	-
KLR	-	-	-	-	-
ne24.24m	◎	-	-	◎	◎
ne4400	-	-	-	◎	◎
ne4800	◎	-	-	◎	◎
ne8800	◎	-	-	◎	◎
X.Ysp	-	-	-	-	-

予告なく仕様変更をすることがあります。1501